

令和3年 第4回岐阜県議会定例会 提出議案等に関する説明会

1 会議の日時	<p style="text-align: right;">開 会 午前 10 時 00 分</p> <p>令和3年6月23日（水）</p> <p style="text-align: right;">閉 会 午後 0 時 34 分</p>	
2 会議の場所	議会西棟第1会議室	
3 出席者	委員	<p>猫田 孝、岩井 豊太郎、玉田 和浩、藤埴 守、尾藤 義昭、伊藤 正博、渡辺 嘉山、松村 多美夫、村下 貴夫、森 正弘、佐藤 武彦、平岩 正光、川上 哲也、伊藤 秀光、野島 征夫、水野 正敏、小原 尚、松岡 正人、山本 勝敏、田中 勝士、野村 美穂、高木 貴行、加藤 大博、林 幸広、高殿 尚、水野 吉近、国枝 慎太郎、長屋 光征、布俣 正也、広瀬 修、若井 敦子、伊藤 英生、澄川 寿之、中川 裕子、恩田 佳幸、山内 房壽、安井 忠、森 治久、藤本 恵司、今井 政嘉、所 竜也、平野 恭子、平野 祐也、小川 祐輝、森 益基 （45名）</p>
4 事務局職員	執行部	<p>別紙配席図のとおり</p>
4 事務局職員	<p>議会事務局長 服 部 敬 主査 柘 植 健 太</p> <p>他関係職員</p>	

5 会議に付した案件

件名	審査の結果
1 令和3年第4回岐阜県議会定例会提出議案について 2 新型コロナウイルス感染症対策について 3 「清流の国ぎふ」創生総合戦略の実施状況報告について	

6 議事録（要点筆記）

提出議案に関する説明会

○議会事務局長

ただいまから、提出議案等に関する説明会を開催する。
はじめに議長からご挨拶申し上げます。

○議長

（あいさつ）

○議会事務局長

それでは、先に案内した日程に従い、説明会を進める。
以後の進行を副議長にお願いします。

○副議長

それでは、提出議案に関する説明会を始める。

本日の説明会では、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一環として、執行部からの説明は、お手元に配布の資料「進行の流れ」に記載のとおり、説明員を必要最少人数とした上で、「2部入れ替え制」にて行うこととする。

執行部説明員については、着座のまま、順次、氏名・役職を名乗った後、説明を行うこととしますが、質疑応答においては、通常どおり、発言許可を受け、起立した上で応答していただくこととする。

「提出議案にかかる説明会」の終了後には、引き続き、「新型コロナウイルス感染症対策に関する説明会」及び「清流の国ぎふ」創生総合戦略の実施状況報告の説明会があるので、出席をお願いします。

それでは、第1部を始めるので、執行部から説明をお願いします。

（総務部長挨拶の後、関係次長等が資料に基づき議案の概要を説明）

○副議長

続いて、質疑に入る。

質疑は、一問一答で簡潔な質疑にご協力をお願いします。

○議員

飛騨牛のブランド発信力を維持するため、料理店に対し飛騨牛の無償提供を緊急的に行うとあるが、提供された精肉は適正な価格で提供されるのか、大安売りしてしまってよいのか。また、なぜ県外の料理指定店に対し提供するのか。

○農産物流通課長

飛騨牛料理指定店は県内146店舗、県外51店舗。コロナ禍の影響により経営的に苦戦しており飛騨牛の取扱量が減少している。そこで、県内食肉卸を通じて県外指定店に精肉を提供し、飛騨牛料理メニューの提供を継続してもらうことでブランド発信力を維持する。

○議員

10万円は食肉卸に対する補助なのか。また、その条件は。

○農産物流通課長

指定店への支援であり、食肉卸が精肉を提供し、メニューとして消費者に提供してもらう。

○議員

単にレストランへのプレゼントとならないよう注意して進めてほしい。きちんと営業を行っているのか、メニューとして提供されているのか、検証が必要である。

○議員

県産材住宅建設事業者への支援について、1棟あたり14万円という助成額の根拠は。十分な額と言えるか。

○県産材流通課長

5月時点での価格上昇分に、過去3年間の1棟あたりの構造材の使用量を乗じて算出している。

○議員

飛騨牛の価格が低下傾向にあるというが、最近は戻ってきているのではないか。1千万円の予算を使うことでどれくらい需要の喚起が図られるのか。

○農産物流通課長

1頭当たり140万円台で推移していた枝肉価格がゴールデンウィーク以降110万円台まで下落した。この傾向が続くと大変なことになるという危機意識から予算化した。効果の把握は定量的には難しいが、この事業を呼び水として需要の喚起を図り、必要に応じて次の手を考えていきたい。

○議員

米の需要が減ったことに関する支援とあるが、どこで保管している米を対象としているのか。

○農産園芸課長

全農の保管倉庫を対象としている。

○議員

事業費850万円は、どのように積算したのか。

○農産園芸課長

コロナ発生前の在庫量からコロナ発生後の在庫量が2割増加すると試算して、増加した保管料の2分の1を補助するものとした。

○議員

全農からの要望があったのか。

○農産園芸課長

要望ではないが、全農は、組合員の米の引受けを拒むことはできないため、在庫が積み増されることから、全農への支援は、生産者への支援につながると考えた。

○議員

全農は農家の米をどのくらい扱っているのか。

○農産園芸課長

3、4割ほどである。

○議員

一般の大手で米を扱っているところもあるが、今回は対象としないのか。

○農産園芸課長

全農以外の大手では、消費が伸びないとして、買入れを控えることもできるが、全農は、組合員の米は引き受けなければならない。大手が買い控えた米は、全農に流れることを鑑みて、全農への支援が生産者への支援となるとして制度設計した。

○議員

全農の取扱量は半分にも届かない量である。これはこれでよいが、今後、コロナの関連で他からも要望が出てきた場合の対応の仕方も考えておいてほしい。

○議員

要望として、農家のことを思えば、米の消費拡大の施策をとってほしい。在庫をしっかり管理することも大事であるが、今年の小売価格の維持につながる施策をお願いしたい。

○議員

県産花きの需要喚起に向けた支援として、ワクチン大規模接種会場等への花飾りとあるが、病院や診療所等も含まれるのか。

○農産園芸課長

ワクチン大規模接種会場と宿泊療養施設を想定している。

○議員

花き農家は苦しいので、需要喚起を進めて幅広く支援して欲しい。

○議員

何カ所でどれくらいの期間を想定しているのか。

○農産園芸課長

岐阜市の岐阜産業会館のほか、今後、5圏域で設置が予定されているワクチン大規模接種会場全てに花飾りを行いたい。期間的には5カ月程度。また、宿泊療養施設は5カ所、別館を含めると6カ所を想定している。現在、稼働している施設数は少なくなっているが、稼働状況に合わせて花飾りを行う予定である。

○議員

なぜ、花フェスタ記念公園の名称を変更することとしたのか。地元からの要望があったのか。

○都市公園課長

現在の名称は、「花フェスタ95ぎふ」の成功を記念し、平成8年に「県営可児公園」から改称したものの。一方で、これまで、公園の魅力である世界最大級のバラ園が、県内外の利用者に伝わりにくいという声が挙がっていた。このため、アピールがしやすく、分かりやすい名称とするよう、都市公園活性化懇談会で新名称を議論してきた。新名称「ぎふワールド・ローズガーデン」は、岐阜の世界に誇るバラがある公園であることを端的に表すことができる。

○議員

新名称はどのように決めたのか。

○都市公園課長

都市公園活性化懇談会の委員や有識者の意見を踏まえて決めた。

○副議長

質問も尽きたので、これをもって第1部の説明を終了する。

執行部入替えのため、しばらく休憩する。

午前10時27分 休憩

午前10時33分 再開

○副議長

議案説明会を再開する。執行部から第2部の説明をお願いします。

(関係次長等が資料に基づき議案の概要を説明)

○副議長

続いて、質疑に入る。質疑は、一問一答をお願いします。

○議員

「清流の国ぎふ移住支援補助金」の補助対象者に、「地域との関わりを持つ意思のある方」とあるが、何をもってこれを確認するのか。

○清流の国推進部次長

交付要綱で、5年以上県内に居住する意思がある方、県内で起業・就業する方などを対象者としている。また、移住に関するアンケートやレポートの提出、セミナーへ参加など、県や市町村が実施する移住定住施策への協力を交付の条件としている。これらを通じて、地域との関わりを持つ意思について確認をしていく。

○議員

それは地域との関わりを持つということにならないのではないか。例えば、消防団や水防団に加入してもらおうようなことが、地域との関わりを持つということではないか。

○清流の国推進部次長

移住後、少なくとも5年間の居住が条件になっており、この期間に、移住定住サポーターや集落支援員などの地域住民によるサポートも受けながら、移住者自身の地域活動・地域交流を通して、地域との関わりをもっていただく。

○議員

補助を受け移住したが、ほとんど地域に関わらないということにならないよう、もう少し要件を定めるべきではないか。あるいは「地域との関わりを持つ意思の有無」を要件にしない方がいいのではないか。後でもう少し詳細を教えてください。

○議員

協力金第5弾の申請が開始されたが、事業者からは、支給額の算定にあたり、書き入れ時の3月が対象から除外されているので、加味して欲しいとの声がある。

○経済・雇用再生室長

国の制度設計において、時短要請がかかっている月が対象とされている。本県は、要請対象が4～6月であるため、3月を加味することは困難である。なお、これは愛知県、三重県も同様である。

○議員

他県の状況も踏まえ、事業者には丁寧に説明してほしい。また、申請内容に問題がなければ、速やか

な支給をお願いしたい。

○議員

“安心ステイ～ほっと一息、ぎふの旅”キャンペーンはいつから開始するのか。飲食店と違い、宿泊施設にはキャンペーンへの準備期間が必要であると思うが、どのように考えているのか。

○観光誘客推進課長

開始の条件は、国から感染症関連の指標がステージ2以下になることと示されている。県内の状況は、人口10万人当たりの新規感染者数に続き、病床使用率もステージ2となったが、感染対策を最優先としながら、裾野の広い観光業界をしっかりと支援することが重要だと考えており、各地域の事業者の事情を聞きながら連携を密にし、時期、規模について決めていきたい。

○議員

他県もキャンペーンをスタートしていることや、再度感染が拡大するとキャンペーン自体が出来なくなってしまうので、出来るだけ速やかに実施していただきたい。また、特定の地域に観光客が集中しないような仕組みとしていただきたい。

○議員

コロナ禍で困難を抱える女性や子どもへの相談支援の強化について、女性が寄り添える居場所づくりとあるが、どういった場所に設置を予定しているのか。また、女性用品とは生理用品のことか、それ以外のものを含むか。

○男女共同参画・女性の活躍推進課長

女性の支援を行うNPO法人等を居場所として提供することを考えている。女性用品は、生理用品のみを予定している。

○議員

可能な限り県内全域に設置されるようお願いしたい。女性用品の提供にあたっては、居場所の利用者のみでなく、近隣の方等広く提供するようお願いしたい。

○議員

時間外や休日に個別接種を行う医療機関や、集団接種会場として施設を提供した医療機関に対して協力を支給する事業は、市町村との協調補助と聞いている。予算額は、県分と市町村分の合算か。

○ワクチン接種対策室長

県分のみ計上している。

○議員

協力金の支給について、1回当たりの単価が決まっていたと思うが、接種実績の確認方法や支払いのスキームを教えてください。

○ワクチン接種対策室長

個々の医療機関が市町村に申請し、各市町村において接種実績を確認する。県は、システム上接種実績を直接確認できないため、市町村からの申請内容に基づいて支給する。

○議員

救急・周産期・小児医療機関への支援について、具体的にどのような設備整備に対して補助するのか。

○医療整備課長

この補助金は、国の新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金のメニューの一つとして昨年度から実施しているもので、簡易陰圧装置、簡易ベッド、空気清浄機等の設備整備を対象としている。

○議員

どのような積算をしたのか。

○医療整備課長

対象となる病院に要望調査を実施し、その結果に基づいて積算した。

○議員

新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金の支給対象について、県内で緊急小口資金等の特例貸付が限度額に達して利用できない方はどの程度いるか。

○地域福祉課長

県社会福祉協議会に確認したところ、県内では3,300件程度である。なお、町村では365件程

度である。

○議員

この支援金について、速やかに支給するための体制はどうなっているか。

○地域福祉課長

国から要綱等の通知を受けて、本日、県事務所への説明会を開催し、速やかに支給できるよう準備しているところ。なお、申請受付は7月1日からを予定している。

○議員

議決前に執行するという事か。

○地域福祉課長

議決までは予算流用で対応する予定である。

○議員

早めに対応していただけるので安心した。

○議員

アフターコロナ・チャレンジ事業者応援補助金について、商工会・商工会議所と連携して取り組む事業が対象とのことだが、商工会・商工会議所への加入は必須となるのか。また連携とはどのようなものか。

○商工政策課長

商工会・商工会議所への加入は必須ではない。連携については、補助金の申請に必要な経営計画書を商工会・商工会議所の経営指導員と相談しながら作成していただくことを意図している。

○議員

商工会・商工会議所に相談せず、事業者でしっかりとした経営計画書を作成する場合はどうか。また、国の事業再構築補助金との重複申請は可能か。

○商工政策課長

商工会・商工会議所が申請窓口となっているため、経営指導員が経営計画書を確認した上で申請することになる。事業再構築補助金との重複申請は不可であり、事業内容に応じて、事業者には有益な補助制度を案内している。

○議員

昨年のGOTトラベルキャンペーンと“安心ステイ〜ほっと一息、ぎふの旅”キャンペーンの違いは。また、割引額はどの程度か。

○観光誘客推進課長

GOTトラベルキャンペーンは、全国を対象地域とした国が行う割引キャンペーンであるが、今回の県のキャンペーンは、国が各都道府県に予算を配分し、県民の県内旅行を対象とした割引キャンペーンである。割引額については、国の指針どおり旅行代金の半額または5千円のうち、金額が低い方を割引の上限としたいと考えている。

○議員

GOTトラベルと割引率は同じか。

○観光誘客推進課長

GOTトラベルとは割引率は異なる。GOTトラベルは、宿泊料の35%の割引と、15%分の地域で使えるクーポンが配布され、合計の割引上限が2万円である。

○議員

観光需要がないため、バス事業者への影響が非常に大きいですが、バス事業者に対する助成の予定はあるか。

○観光誘客推進課長

今回のキャンペーンでは、バス事業者を含む旅行会社が企画する教育旅行などの受注型の商品や地域のニーズに応じた商品も対象となるため、このキャンペーンによりバス事業者への支援を行う。

○議員

大規模接種会場の整備について、設置状況や使用するワクチンを教えてほしい。

○健康福祉部課長

岐阜圏域は、岐阜産業会館に設置済み。西濃圏域はソフトピアジャパン、中濃圏域は岐阜医療科学大学において、7月中旬設置に向けて調整中である。東濃圏域、飛騨圏域についても、地域の医療従事者と相談しながら、設置を検討している。また、大規模接種会場においては、モデルナ社製ワクチンを使用する。

○議員

職域接種で使用するモデルナ社製ワクチンの供給見込みについて、県は把握しているか。

○ワクチン接種対策室長

現時点で国から具体的な供給見込みは示されていないが、国全体では、9月までに5,000万回分を確保できる見通しと承知している。

○議員

V字回復に向けた「岐阜の観光」リスタートの委託料の用途は。

○観光誘客推進課長

個人旅行化が進み、オンライン上の宿泊予約サイトでの予約が多いため、サイトを運営するオンライン旅行会社へ委託する予定である。

○議員

協力金でも支給まで待てないとの声があるが、売上減少事業者等支援金について、審査体制はどのように考えているか。

○商工政策課長

協力金と同じく、最終審査を行うコア部分には県職員を配置し、コールセンターや申請書類の受付、一次審査は外部委託する予定である。

○議員

支給見込みはいつ頃を予定しているか。

○商工政策課長

議決後速やかに募集を開始するが、早くても支給までにはひと月はかかると考えている。

○議員

ひと月というと、早くてもお盆くらいかと思うが、4月5月分の支援金であることから、あまりにも遅いのではないか。申請の簡素化や人の配置を増やすなど考えてほしい。

○議員

ワクチンを接種する医療機関等への支援事業の予算について、誰をいつまでに接種する想定で積算しているのか。

○ワクチン接種対策室長

高齢者向け優先接種を7月末までに完了させることを目標に実施するものである。

○議員

高齢者向け優先接種後の接種や職域接種について、県として国の補助に上乗せする予定はあるか。

○ワクチン接種対策室長

8月以降の支援について、現時点では国から明確に示されていない。国から補助の見通しが示された段階で検討したい。

○議員

コロナ禍で困難を抱える女性や子どもへの相談支援事業の委託先は、どの程度の数を予定しているか。

○男女共同参画・女性の活躍推進課長

女性のつながりサポート支援事業は、10団体程度を予定しており、県内5圏域で設置できるよう調整しているところ。

○子ども家庭課長

子どもの居場所等相談機能強化事業は、18箇所での実施を予定している。

○議員

女性の自殺の問題も言われていることから、十分に周知を行い、こちらから寄り添う形で進めていただきたい。また、各事業の委託先の団体が決まったら資料をいただきたい。

○議員

売上減少事業者等支援金の対象者として、不要不急の外出・移動の自粛による直接的な影響を受けた事業者とあるが、どのような事業者を想定しているか。

○商工政策課長

国の月次支援金と同じ条件としているが、具体的には小売店、理美容、マッサージ店、映画館のほか、協力金第5弾の対象外となっていた昼間営業の喫茶店等である。

○議員

飲食店の感染防止対策について、アクリル板を設置しなければいけないのか、一定距離を空ければ良いのか、店舗によって対策が曖昧になっているため、それらについて県としての考え方を示すべき。

○感染症対策調整課長

現状はアクリル板などの遮蔽物の設置を大前提として、それができない場合は一定間隔を取ってくださいと説明している。改めて周知を図る。

○議員

コロナ禍で影響を受けている多様な方々に対して、各部局が様々な支援策を準備しているが、どのような考え方で、支援策を決定したのか。

○財政課長

これまで、飲食店を中心に特に影響を受けている事業者に対しては、国の制度を活用し支援を行ってきた。6月補正予算では、国の月次支援金の横出しとして、要件を緩和することで外出自粛の影響を受ける幅広い事業者に対し県独自の支援を行うこととした。その上で、とりわけ影響の大きい事業者を対象とし、例えば飲食業とかかわりの深い農林水産業の中でも、特に配慮が必要な事業者・分野などについては個別の支援を準備した。

○議員

協力金の第5弾、第6弾では、提出書類で共通するものが多いと思われるので、簡素化してほしい。

○経済・雇用再生室長

提出書類はできるだけ省略を図り、速やかに支給できるようにしたい。

○議員

昨年度いち早くアクリル板を設置したところは補助金がもらえないのは不公平ではないか。遡って補助金の支給対象にすることはできないか。

○感染症対策調整課長

アクリル板購入に関する補助金については、令和3年4月1日まで遡って補助対象としている。昨年度については遮蔽物の購入を対象とできる補助金があり、制度を分けるという趣旨からも今年度4月1日からと整理した。予算との兼ね合いもあるが、今後検討していく。

○議員

協力金の第5弾の申請受付開始にあたり、窓口が混乱する恐れがあるため丁寧な対応を行っていくとの説明があったが、丁寧な対応に加えて、提出する書類が多いという声があるので、簡素化してもらいたい。

○経済・雇用再生室長

コールセンターでの問い合わせ対応についても、委託業者に加えて県職員が常駐するなど、丁寧な対応を行っているほか、提出書類はできるだけ簡略化を図っている。

○副議長

質問も尽きたので、これをもって提出議案に関する説明会を終了する。

午前11時50分終了

新型コロナウイルス感染症対策に関する説明会

○副議長

それでは、新型コロナウイルス感染症対策に関する説明会を始める。

執行部から説明をお願いします。

(健康福祉部長挨拶の後、健康福祉部次長が資料に基づき説明)

○副議長

続いて、質疑に入る。質疑は、一問一答をお願いします。

○議員

6月4日に県内で初めてデルタ株が見つかったが、それ以降のデルタ株の感染状況は。

○感染症対策推進室長

変異株スクリーニング検査は40%以上を保ち実施しているが、6月4日以降、デルタ株は確認されていない。

○議員

東京オリ・パラの海外代表チーム事前合宿受入れについて、関係者に対しワクチン接種を行うとしているが、その対象者の人数と業種、接種の進捗状況は。

○地域スポーツ課長

105人に対し接種する予定で、毎日PCR検査を受けるべき関係者の基準として国が定める半径1m以内に1日15分以上選手と接触する関係者を対象としている。業種としては県市の担当職員、宿泊施設やトレーニング施設の職員、バス輸送関係者などである。現在、10名が接種を終えている。

○議員

7月18日から受入れ予定とされているが、2回目の接種は間に合うのか。

○地域スポーツ課長

できるだけ早期の接種を進めるが、1回目の接種で受入れを開始することになる。毎日のPCR検査を行い、並行して対策を講じていく。

○議員

ワクチン接種についての要望になるが、体質等を理由に接種できない方もいるため、県のコロナ・ハラスメント対策にワクチン接種を追加いただきたい。

○議員

県は、市町村別のワクチンの接種率を把握しているか。把握している場合、情報開示いただけるか。

○ワクチン接種対策室長

市町村別の接種率は、進捗管理の観点から把握しているが、公にした場合のリスクを鑑み、公表については慎重に検討している。

○議員

大規模接種会場の接種対象者として県立学校教職員が挙げられているが、市町村による一般接種の方が早い場合もあるのではないか。

○健康福祉部課長

大規模接種会場で接種しなければならないものではなく、どちらかで接種いただければよい。

○議員

職域接種促進のための支援策について、県が大規模接種会場として確保している会場の貸出に向けて国と調整中とは、どういう趣旨か。

○ワクチン接種対策室長

現在、国のシステムにおいては、ワクチンのトレーサビリティの観点から、一つの会場について複数の異なる実施主体の接種会場として登録することができないため、そのシステムの改善を求めているもの。

○議員

時短要請に応じなかった30店舗に対して改善要求を出したと聞いているが、その後どうなったか。

○健康福祉部課長

時短の要請に従わなかった30店舗に対して、営業時間変更の命令を出し、その後、命令に従ったかどうかの現地確認をした。命令に従わなかった18店舗に対して、今後、過料事件として裁判所に通知する手続きを進める予定。

○議員

家族で一人だけ陽性となったが、子どもが小さいため宿泊療養施設に入れなかったという話を聞いた。そのような場合の自宅療養ゼロの考え方は。

○感染症対策推進課長

母親が陽性となり、その子どもが陰性で幼児であった場合も、宿泊療養施設で受け入れており、自宅

療養とならないよう対応している。

○議員

美濃加茂市内の病院で発生した大規模なクラスターについて、国から専門家等が入り感染が拡大した要因等を調査するということがあったが、その後の状況は。

○健康福祉部長

国のクラスター班として国立感染症研究所から専門家が入り指導していただいた。一定期間が経過すると国から報告書をいただけることになっているが、対応にあたった先生方が全国各地に呼ばれていることもあり、現時点で報告書をいただけていない。

○議員

同様の事例を起こさないためにも、県としての調査、情報共有等を心がけていただきたい。

○議員

宿泊療養施設で働いている方は感染リスクが高いと思うが、予防的検査を実施する考えはあるか。

○感染症対策推進課長

宿泊療養施設の運営に協力いただいている方については、感染しないよう安全に十分配慮しており、実際、感染した方はいない。予防的検査は考えておらず、引き続き、専門家の意見を聞きながら、安全な距離・空間を確保することで感染防御に努めてまいりたい。

○副議長

質問も尽きたので、これをもって新型コロナウイルス感染症対策に関する説明会を終了する。

午後0時20分終了

「清流の国ぎふ」創生総合戦略の実施状況報告の説明会

○副議長

これより、「清流の国ぎふ」創生総合戦略の実施状況報告の説明会を開催する。

これは、岐阜県行政に係る基本的な計画の議決等に関する条例及び運用基準に基づき行うものである。

それでは、執行部からの説明をお願いします。

(清流の国推進部長挨拶の後、清流の国づくり政策課長が資料に基づき実施状況を説明)

○副議長

続いて、質疑に入る。質疑は、一問一答をお願いします。

(質疑なし)

○副議長

質問もないようなので、これをもって「清流の国ぎふ」創生総合戦略の実施状況報告の説明会を終了する。

令和3年第4回定例会 提出議案に関する説明会(第1部)配席図

令和3年6月23日(水)10:00~
議会西棟 3階 第1会議室

下野 ICT教育総務課 教育推進室長	青木 道路維持課長	林 道路建設課長	泉 警察本部 交通規制課長	早野 警察本部 情報管理課長	桂川 警察本部地域課長	三宅 防災課長	河村 財政課管理調整監
長尾 公共建築課長	高田 教育財務課 教育施設整備監	若山 農地整備課長	辻 里川振興課長	板垣 農村振興課長	大口 デジタル戦略推進課長	海蔵 情報システム課長	塚原 市町村課管理調整監
北神 水資源課長	上田 下水道課長	大橋 農産園芸課長	井戸 農業経営課長	高木 農産物流通課長	伊藤 県産材流通課長	子林 人事課長	松田 税務課長
清水 都市公園課長	杉下 農政部長	横山 総務部長	富田 総務部次長	平井 林政部次長	坂井 法務・情報公開課長	板津 財政課長	

議 員 席

議長
副議長

議会
事務局長

令和3年第4回定例会 提出議案に関する説明会(第2部)配席図

令和3年6月23日(水)10:00～
議会西棟 3階 第1会議室

安村 子ども家庭課長	崎浦 男女共同参画・ 女性の活躍推進課長	関谷 障害福祉課長	有田 高齢福祉課長	森 地域福祉課長	金武 観光資源活用課長	池戸 観光誘客推進課長	河村 財政課管理調整監
篠田 業務水道課長	加藤 感染症対策推進課 長 医療・検査体制対策室	小山 感染症対策推進課長	中野 感染症対策推進課 ワクチン接種対策室長	後藤 感染症対策調整課長	北村 商工政策課 経済・雇用再生室長	久野 商業・金融課長	浦崎 県産品流通支援課長
前田 公共交通課長	伊藤 医療整備課長	若山 健康福祉部課長	渡辺 健康福祉部参事	兼松 健康福祉部次長 (調整担当)	桑田 商工政策課長	田上 航空宇宙産業課長	板津 財政課長
朝倉 都市建築部次長	箆橋 健康福祉部次長	横山 総務部長	富田 総務部次長	可知 清流の国推進部次長	山田 商工労働部次長 業東京オリンピック ク県産品活用促進 総括監 パラリンピッ	坂井 法務・情報公開課長	

議

員

席

議長
副議長

議会
事務局長

新型コロナウイルス感染症対策に関する説明会 配席図

令和3年6月23日(水)
議会西棟 3階 第1会議室

森島 感染症対策推進課 管理監	深見 高齢福祉課 高齢者生きがいづくり 推進監	関谷 障害福祉課長	森 地域福祉課長	赤尾 保健医療課長兼 健康増進室長	山田 環境生活政策課長	佐藤 労働雇用課 障がい者就労推進監	野中 感染症対策推進課 管理監
加藤 感染症対策推進課 医療・検査体制対策 室長	有田 高齢福祉課長	中野 感染症対策推進課 ワクチン接種対策室長	長谷川 健康福祉部課長	松本 教育総務課長兼 教育対策調整室長	北村 商工政策課 経済・雇用再生室長	広瀬 労働雇用課長	吉川 市町村課長
小山 感染症対策推進課長	伊藤 医療整備課長	若山 健康福祉部課長	渡辺 健康福祉部参事	後藤 感染症対策調整課長	桑田 商工政策課長	高橋 外国人活躍・ 共生社会推進課長	大川 地域スポーツ課長
大野 健康福祉政策課長	笠橋 健康福祉部次長	堀 健康福祉部長	長沼 健康福祉部次長 (福祉担当)	兼松 健康福祉部次長 (調整担当)			

議	員	席
---	---	---

議長
副議長

議会
事務局長

「清流の国ぎふ」創生総合戦略の実施状況報告 配席図

令和3年6月23日(水)
議会西棟 3階 第1会議室

横林 兼 警務部参事官 兼 警務課長		塚原 地域振興課管理調整監		高橋 兼 外国人活躍・ 共生社会推進課長		大川 地域スポーツ課長		中嶋 競技スポーツ課長		今井 ねりんピック推進 事務局長		清水 都市公園課長
--------------------------	--	------------------	--	----------------------------	--	----------------	--	----------------	--	------------------------	--	--------------

平野 林政課長		飯島 建設政策課長		青木 文化創造課長		崎浦 兼 男女共同参画・ 女性の活躍推進課長		渡部 観光企画課長		松本 兼 教育総務課長 兼 教育対策調整室長		幸畑 都市政策課長
------------	--	--------------	--	--------------	--	------------------------------	--	--------------	--	------------------------------	--	--------------

長谷川 危機管理政策課長			山田 環境生活政策課長			大野 健康福祉政策課長			桑田 商工政策課長			田口 農政課長
-----------------	--	--	----------------	--	--	----------------	--	--	--------------	--	--	------------

澤村 広報課長			可知 兼 清流の国推進部次長 兼 岐阜地域総括監			丸山 清流の国推進部長			村田 兼 清流の国づくり政策課長 兼 地方創生室長			板津 財政課長
------------	--	--	--------------------------------	--	--	----------------	--	--	---------------------------------	--	--	------------

議

員

席

議長
副議長
議会
事務局長